

しあわせの法則

内海府中学校長 和田 大二

親はいつも子どものしあわせを願っています。学校もまた、子どもたちのしあわせを達成するために教育活動を進めています。子どもたちがいつも笑顔で、楽しく学校生活を送るためには4つの「あ」が大切だと考えています。

- 1 子どもたちに「**あ**いじょう：愛情」をそそぐ学校〈教員〉
- 2 明るく元気な「**あ**いさつ」ができる学校〈子ども〉
- 3 素直に「**あ**りがとう」と感謝できる心を育てる学校
- 4 子ども「**あ**んしん(安全)」を大切にする学校

この4つの「あ」を合わせると、しあわせ
(4「あ」わせ)な学校が達成できるのです。



しあわせの基準は、人によって違うものです。自分がしあわせを感じる時(場面)を考えたことがありますか。その人にとって、何が大切か、その人が何を大切にしているかで、しあわせの感じ方は様々です。

しあわせを感じる為に大切な事を5つ紹介します。

- 1 **夢をもって生きる**
夢をもつことは、幸せを引き寄せる第一歩です。
- 2 **ほほえむ(笑う)**
いつも、ほほえんでいることで前向きな気持ちになれます。
- 3 **他の人に親切にする**
誰か知らない人に親切にすることで、幸せな気持ちになれます。
- 4 **他人と比べない**
自分と他人を比べてはいけません。自分の欠点が見える場合が多い。
- 5 **寝る前に今日頑張ったこと(良かったこと)を10個考える**
何でもいいのです。(今日もしっかり起きられた・・・)



しあわせになるための方法を紹介しましたが、全部できなくてもよいのです。しあわせはその人が幸せだと感じればそれでよいのです。お金持ちが必ずしも幸せではないように、物質的に恵まれていることよりも、精神的充実感の方が、しあわせの本質だと思います。

平成26年度 学校運営の基本構想

1 教育目標

(小学校) よく考え みんなでなかよく がんばる子
(中学校) 豊かな心と強いからだ 高い知性とたくましい実践

2 重点目標

主体的に学び合い、高め合う児童生徒



3 目指す児童生徒像

- (1) 「高い知性（よく考える子）」
かかわり合いをもちながら、互いに学び合う児童生徒
- (2) 「豊かな心（みんなとなかよくする子）」
自分や仲間を大切にし、思いやりのある言動がとれる児童生徒
- (3) 「強いからだ（がんばる子）」
健康で明るく、自らを鍛え続ける児童生徒
- (4) 「たくましい実践」
めあてをもって粘り強くやり抜く児童生徒



4 目指す学校像

- (1) 一人一人の学びを大切にし、成長を実感できる学校
- (2) 人を思いやる心をはぐくみ、笑顔と活気に満ちた学校
- (3) 家庭や地域との連携を深め、絆を大切にしている学校



5 学校経営の基本方針

本校は、内海府小学校と内海府中学校が一つの校舎で教育活動を行う、小中連携校です。これまでの内海府小・中学校のよき伝統や校風を継承しながら小中学校の連携を深め、地域に根ざした学校づくりを目指します。

- (1) 小・中学校全職員の協働意識を深め、教育目標と重点目標の達成を目指します。
- (2) 自ら学び、考えをまとめ適切に表現できる力を育成します。
- (3) 一人一人のよさを生かし、様々な活動に主体的に取り組む児童生徒を育成します。
- (4) 道徳教育や体験活動を通し、思いやりの心やたくましく生きぬく力を育成します。
- (5) 家庭や地域との連携を通し、地域に信頼される学校づくりを目指します。



6 学校経営の重点 (基本方針を受けて、今年1年頑張ることを設定しました)

1 確かな学力の向上

- (1) 個別指導の充実を通して、基礎学力の定着を目指します。
- (2) かかわり合い学び合う授業を通して、確かな学力を育成します。
- (3) 義務教育9年間の発達段階に応じた、学習規律や学習技能を定着させます。

2 信頼しあえる人間関係づくり

感謝する心や思いやりの心を育て、信頼しあえる人間関係を築きます。

3 健康・体力の向上

望ましい生活習慣を定着させ、健康や体力の向上を目指します。

4 地域とともに歩む学校

地域の方とのかかわりを通し、郷土の良さを知り郷土を愛する心を育成します。

カンゾウ祭り【6月8日(日)】 応援よろしくお願いします!!

今年もカンゾウ祭りに、全校で参加します。小学生はマーチングの初披露になります。中学生は、観光ガイドボランティアと海府太鼓で参加します。それぞれ練習の期間はあまりありませんでしたが、一生懸命に取り組みました。当日の応援をよろしくお願いします。



マーチングの練習



昨年のカンゾウ



海府太鼓の練習

4月20日(日)は、カンゾウの定植ボランティア活動に参加しました。三千本以上の鉢上げ作業は大変でしたが、農協婦人部の方や保護者の方と協力して、なんとか終わることができました。今年移し替えたカンゾウの苗の成長が楽しみです。



